

会場

あすか会議室
東京日本橋会議室
〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-3-9
メルクロスビル 5F

日時

2015年12月12日
開場 9:30 開演 10:00

特別講演1

化学物質と健康—リスクコミュニケーションの役割 北野 大（淑徳大学）

（財）化学品検査協会（現：化学物質評価研究機構）・企画管理部長から淑徳大学国際コミュニケーション学部教授、明治大学理工学部教授を経て、現在は淑徳大学人文学部教授。経済産業省・化学物質審議会委員、環境省・中央環境審議会委員、残留性有機汚染物質（POPs）に関するストックホルム条約専門委員などを歴任。タレント・ビートたけし氏（映画監督・北野武氏）の実兄。

特別講演2

ニシンと有害物質のカクテル—PCBとダイオキシン汚染（スウェーデンからの報告） エリック・ランパ（ウプサラリサーチセンター）

スウェーデン、ウプサラクリニカルリサーチセンター所属の生物統計学者。医学博士。PCB など環境中に長期間残留する化学物質の人体影響を統計的な手法で解析、スウェーデン人における人体汚染の状況を研究している。

プ	ロ	グ	ラ	ム
10:00	開会のあいさつ	千葉大学予防医学センター長	森千里	
10:05	「環境汚染物質による健康影響と成果報告」:	森千里	(千葉大学)	
10:20	「ヒト疾患における遺伝要因と環境汚染物質」:	羽田明	(千葉大学)	
10:35	「大規模コホート調査に対応した血清中 PCBs 測定技術の確立を目指して」:	江口哲史	(千葉大学)	
10:50	— 休憩 —			
11:00	特別講演1「化学物質と健康—リスクコミュニケーションの役割」:	北野大氏	(淑徳大学)	
11:40	特別講演2「ニシンと有害物質のカクテル—PCB とダイオキシン汚染（スウェーデンからの報告）」:	エリック・ランパ	(スウェーデン・ウプサラリサーチセンター)	
12:10	パネル・ディスカッション「長期間体に残る環境汚染物質の健康影響はどうやって防ぐ？」	コーディネーター・説明講演:	戸高恵美子	(千葉大教授)
		パネリスト:	エリック・ランパ、曾根秀子、森千里、羽田明、江口哲史	
12:50	— 質疑応答 —			
13:00	閉会のあいさつ	千葉大学大学院医学研究院 教授	羽田明	

主催：千葉大学予防医学センター
共催：NPO 次世代環境健康学センター
後援：環境ホルモン学会（正式名：日本内分泌攪乱化学物質学会）

入場無料
事前申込不要